



北里研究所病院だより

Kitasato 100×50
Pioneer the Next

つくしんぼ

平成27年 春号

vol.172

お薬お渡し口

整形外科 / スポーツ整形外科
Orthopaedic Surgery / Sports Orthopaedic Surgery

特集

人工関節・軟骨移植センター紹介 新任医師紹介

つくしんぼレシピ／医局長コラム／ご意見箱

イベントスケジュール／イベント報告

退職医師紹介／編集後記

2015年1月、人工関節・軟骨移植センター開設

若年層から高齢層まですべての世代の関節・軟骨系疾患を治療しています

人工関節・軟骨移植センター長 月村 泰規

人工関節置換手術などの治療を行っている「人工関節センター」が、2015年1月より名称を「人工関節・軟骨移植センター」に変更、新たにスタートしました。これは、自家軟骨培養移植術を施行する認可があり、当院で手術が行えるようになったため、軟骨損傷に対する治療の幅が広がりました。



高齢者の健康寿命をのばす
「人工関節」

センターでは、変形性膝関節症、変形性股関節症などの患者さまに対して、人工関節置換術を行っています。人工関節の耐用年数が20～30年であることから、基本的に60歳以上の患者さまを対象としています。現在は、技術も向上し、術後15年間で93～94%の耐用性と報告されています。変形性関節症は、肩・肘・指など、どの関節でも起こりますが、一番多いのは膝と股関節。この変形というのは、ショックを吸収して、摩擦をなくす役目の軟骨がすり減って、衝撃を吸収できなくなることで、関節を動かすと痛みや炎症が起ることを指しています。

例えば、変形性膝関節症は、立ち上がりや歩き出しの痛み、階段の昇降、正座やしゃがみこみができなくなってしまうのです。そうすると遠くに外出できず、寝たきりともまではいかずとも、自分のしたいことができずに人の助けを借りて生きている状態になってしまいます。そんな患者さまが、人工関節置換術をして歩けるようになることは、健康寿命※をのばすことになるといえるのではないのでしょうか。

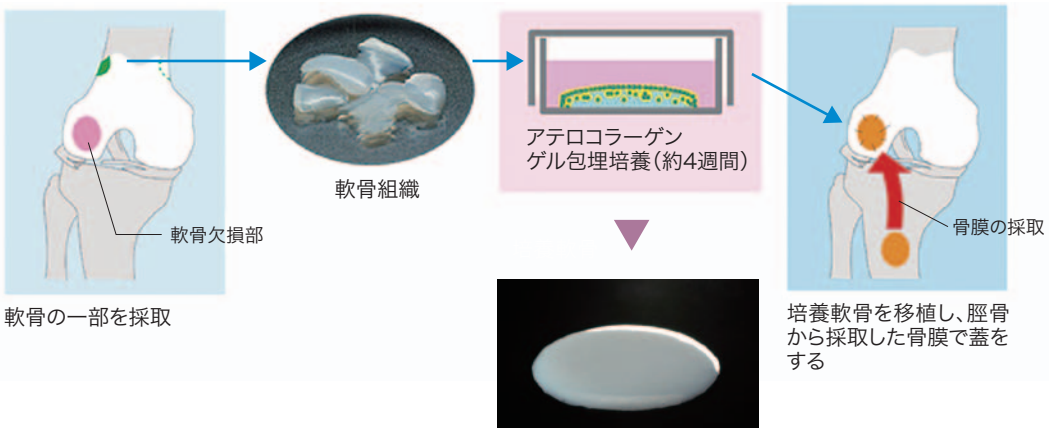
今まで治療が難しかった
若い世代に朗報！軟骨培養移植！

関節を専門にしている医師の一番の課題は、「軟骨をどうやって治したらいいのだろう？」ということなんです。

30～40代で軟骨が傷んでいる患者さまに対し

て、人工関節の入れ替えや運動のことを考えるとすぐに人工関節の手術はできません。そんな患者さまに対して、今までは関節の軟骨よりも硬い繊維軟骨の再生を目標としたドリリングやシェービングなどの治療や、自分の軟骨を他の部分から取ってきて並べて埋めるモザイクプラスチックなどの治療を行ってきたのですが、痛みが完全にとれ

●自家培養軟骨移植の流れ(ひざ関節)



©J-TEC

センター化することによって、集学的に治療をすることができま。つまり、医師、外来、病棟、オペ室の看護師、麻酔科医、理学療法士、患者さまに合併症があれば内科の医師など、人工関節や軟骨移植の知識豊富なスタッフが一丸となって患者さまの治療にあたるができます。診療科ごとの横割りではなく、診療科の垣根なく縦割り、人工関節のプロセスを診ることができのがメリットです。

あらゆる年代の患者さまに合った治療が可能に

この手術によって軟骨の状態が良くなっても、年齢を重ねることすり減ったり、またケガをする可能性もあるかもしれない。それはまだ新しい治療法なので、経過を見ていかねばなりません。しかし、もしかしたら30年使用でき、将来人工関節を回避できれば、とてもいいと期待しています。何より、今、関節が痛くて活動ができない人が、仕事に復帰し、また運動ができることになったら、その患者さまにとって人生がもっとハッピーになると思います。

なかったり、もともとの軟骨よりも硬くなったりして完全ではありませんでした。そこで考えられたのが、自分の軟骨を培養して、足りない部分に移植する方法。これを実現したのが、広島大学の越智教授で、その後実用に向けて研究を重ね、やっと手術を行えるようになりました。今まで人工関節の手術ができなかった若い患者さまに対して、人工関節の前に軟骨を戻す治療ができるようになったんです。

患者さまにおいても、人工関節に向く患者さまと、軟骨移植に向く患者さまがいます。40～50代の患者さまがグレーゾーンで、そこが大きな境界線で難しい部分ですが、このセンターではどんな年齢の人でも関節、軟骨系の治療ができることとなります。子どもから大人までどんな患者さまでも、何かしらの対応がしてあげられるような場所がこのセンターなんです。

今後の目標は、グレーゾーンの患者さまを含めて軟骨培養移植において、人工関節のように治療の効果があげられるようにするということです。今、軟骨培養移植は若い患者さまが多いけれど、それが50～60代の患者さまにできるようにしていくかどつかを、臨床的、基礎的両方の側面で研究できればいいと思っています。高齢化社会に突入していくこれから、みんないつまでも元気に生活できる一助を担いたいですね。

※健康寿命 健康上の問題がなく元気に日常生活ができること。

Profile

月村 泰規 (つきむら やすのり)

人工関節・軟骨移植センター長
(病院長補佐／整形外科部長／スポーツ
整形外科部長／リハビリテーション科部長)

1988年 日本医科大学医学部を卒業、慶應義塾大学病院で研修。
専門は、整形外科一般、膝・足関節などの関節外科、脊椎外科、スポーツ医学。
日本整形外科学会(専門医、認定スポーツ医、認定脊椎脊髄病医、認定リウマチ医、認定運動器リハビリテーション医)、日本体育協会(認定スポーツ医)、日本アメリカンフットボール協会(安全対策委員)

管理栄養士が教える！
つくしんぼ
レシピ

春の行事食より

桜エビの ピラフ

栄養科では健康と心の充実を維持する上で食事と栄養は重要と考えており、患者さまにおいしく召し上がっていただけるようにと日々献立と調理を工夫しています。そのような取り組みのこだわりの一例ですが、お米は国産のブランド米で提供しています。朝・昼食は選択食を導入しております。また行事食を含む特別献立を年間で24回提供しております。その都度実施しているアンケートでも大変好評です。

このたびのレシピは3月に提供しましたひな祭りの行事食をご紹介します。献立は桜エビのピラフ・鮭のキッシュのグリーンソース・グリーンアスパラとオリーブのマリネサラダ・甘酒のゼリー・コンソメスープ。患者さまからは「春らしい彩りと組みあわせに季節を感じました」「甘酒ゼリー食べやすく美味しかったです」などのご意見をいただき好評でした。これを励みによりよい献立作りを目指してまいります。この行事食の中から桜エビのピラフをご紹介します。ご家庭でも簡単に再現できますのでぜひお試しください。



材料（2合分）

精白米	2合
桜エビ（干）	10g
玉葱	1/2個
バター	5g
コンソメ（顆粒）	3g
食塩小匙	1g

＜作り方＞

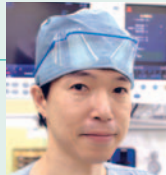
1. お米は洗米し、分量の水に浸水しておく
2. 玉葱はみじん切りにし、桜えび以外の材料を1に加えサッと混ぜ炊飯する
3. 炊きあがったら桜えびを加え混ぜる。（味を見て薄いようであれば塩を適宜加え調味する。）



医局長コラム Column

このたび、リニューアルにより当院の
医局長のコラムを定期掲載します。

麻酔科部長 柏木 政憲



春から医局長になりました麻酔科の柏木です。つくしんぼリニューアルに伴い、「医局長として定期的にコラムを掲載してほしい」と担当者より依頼をいただきました。医局長として、また、麻酔科医として、どのような仕事をしたり、どのような環境で働いているかなど、少しでも身近に感じていただけるようなコラムにしたいと考えています。

さて、私の仕事場は手術室です。耳を澄ますと、患者の皆さまにリラックスしていただくためのBGMが流れてきますが、今回は、このBGMと新人医師について筆をとってみたいと思います。

何年も前のことです。新人の医師に注意・指導する機会がありました。私は熱血指導をするつもりで新人医師に向き合いましたが、ちょうど、その時手術室に流れ始めたBGMによって、調子を狂わされてしまいました。その時に流れていた曲が、映画「エデンの東」のテーマ曲でした。この映画の主人公の若者は頑張っても受け入れてもらえず葛藤するという内容ですが、新人医師も同様の状況だったのかもしれない。結果として、その時は、熱血指導ではなく穏やかに教え諭すこととなり、その後も同様のスタイルが私の指導方針となりました。

これからも毎年新人の医師が赴任してきますが、未来の名医も初めは未熟。暖かい目で応援いただけましたら幸いです。

ご意見箱

■ご要望・ご質問

会計の機械（自動精算機）が設置され便利になりましたが、より多くの方が利用できるような機械の増設と説明する職員を配置してもらえると良いと思います。（その他、17時以降の利用時間延長、混雑時の自動精算機への誘導等）

■病院からの回答

自動精算機のご利用時間の延長と増設については、これまでも多くのご意見をいただいております。平成27年3月より17時以降もご利用いただけるように変更し、4月以降には増設も予定しています。また、混雑時には、会計窓口で、自動精算機をご案内していますが、「案内の声がうるさい」「会計窓口が良い」というご意見もあり、節度を持って案内しています。操作説明の職員配置については、導入初期は常時配置しておりましたが、ご利用される患者さまへの周知も一通り済んだことから、現在、常時配置は控えていますが、今後、混雑時など、状況に応じて配置することも検討いたします。

（回答者 医事課長）

新任医師紹介

平成27年3月1日～4月1日に
赴任しました
常勤医師をご紹介します。
これからもどうぞ
よろしくお願いいたします。



3月1日付



皮膚科 医員
本田 皓
（ほんだ あき）

患者さま個々にあわせた
診療を心がけています。

4月1日付



呼吸器内科 部長
鈴木 雄介
（すずき ゆうすけ）

伝統ある病院に上手く
新しさを融合できたらと
思います。



皮膚科 部長
佐藤 友隆
（さとう ともたか）

一人ひとりの患者さまが
少しでもよくなるように
努力します。



精神科 部長
高橋 恵
（たかはし めぐみ）

患者さまと家族の
笑顔が多くなるよう
お手伝いします。



消化器内科 医員
齋藤 詠子
（さいとう えいこ）

炎症性腸疾患を女性なら
ではの視点で取り組んで
いきたいと思いますので、
よろしくお願いします。



消化器内科 医員
豊永 貴彦
（とよなが たかひこ）

東京は初めてで
緊張しています。



呼吸器内科 医員
中山 莊平
（なかやま そうへい）

チーム医療を通じて
患者さまに最良の医療を
提供していきたいと
思います。



整形外科 医員
大矢 昭仁
（おおや あきひと）

専門は股関節ですが、
上肢外傷や小児整形なども
若干の経験があります。



総合内科 後期研修医
平本 尚子
（ひらもと ひさこ）

精一杯頑張りますので、
よろしくお願いいたします。



循環器内科 後期研修医
吉澤 智治
（よしざわ ともはる）

大学院を卒業し、久しぶりの
臨床の現場となります。
よろしくお願いいたします。



外科 後期研修医
蛭川 和也
（ひるかわ かずや）

肝胆膵、移植チームと
再生医療の研究を志し、
修練中です。



整形外科 後期研修医
小野 敦子
（おの あつこ）

精一杯がんばります！



前期研修医
水谷 洋祐
（みずたに ようすけ）

患者さま中心の医療の
実践に努めて参りたいと
思います。



前期研修医
岡田 真彦
（おかだ まさひこ）

日々すべてを吸収できるよう、
励んでいきます！



前期研修医
前 ゆうき
（まえ ゆうき）

努力を惜しまず、
日々精進していきたいです。



前期研修医
小林 桃子
（こばやし ももこ）

学んだことを活かせる
医療人になれるよう頑張ります。

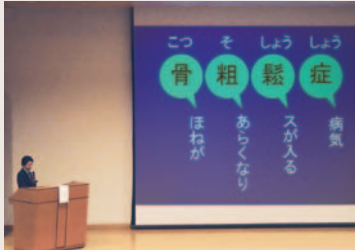
整形外科公開市民講座レポート

ご好評につき、今年も整形外科公開市民講座を開催しました。

今回は、平成27年3月21日(土)に港区医師会整形外科医会と港区の共催で、「健康寿命を延ばすために」をテーマに専門家による熱い講演が行われました。

全ての人に平等にやってくる高齢化時代。その高齢化と共に高まる骨折などのリスク。これらを上手く回避して、日常生活に支障をきたさないためにはどうしたらいいのか？もし、骨折してしまったら？その秘訣と、予防法などについて、とてもわかりやすい内容で紹介され

ました。昨年を大きく超える方々にお越しいただき、今回も大盛況でした。来年以降も開催する予定ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。



講演会の様子



ロコモ体操の様子

退職医師紹介

【2月28日付】.....

川崎 洋 (皮膚科)

【3月31日付】.....

坂間 玲子 (総合内科)	長野 雅史 (総合内科)
清水 清香 (消化器内科)	小杉 理恵 (循環器内科)
竹下 啓 (呼吸器内科)	岡 英俊 (外科)
柳澤 貴子 (外科)	千葉 一裕 (整形外科)
畑 亮輔 (整形外科)	木村 佳史 (皮膚科)
小野 准平 (形成・美容外科)	中山 愛 (精神科)
西脇千恵美 (麻酔科)	佐々木賢一 (前期研修医)
濱田 章裕 (前期研修医)	古山 恵理 (前期研修医)

イベントスケジュール

■生活習慣病教室(無料)

開催日 平成27年5月9日(土)
 時 間 午前10時00分～午前11時30分
 場 所 3階セミナー室
 定 員 30名
 申込方法 TEL:03-5791-6146
 (予防医学センター)

■看護の日イベント(無料)

開催日 平成27年5月12日(火)
 時 間 午前9時30分～午後4時00分
 場 所 1階正面玄関ホール
 内 容 師長・専門・認定看護師による
 各種相談受付、
 アロママッサージ、看護グッズ配布

■リビングウィルセミナー(有料)

開催日 平成27年5月30日(土)
 時 間 午前10時00分～午前12時00分
 場 所 北里研究所病院4階AB会議室
 受講料 2,000円(税抜)
 定 員 20名
 申込方法 TEL:03-5791-6345
 (予約センター)

■ロコモ教室(有料)

開催日 平成27年6月8日(月)
 時 間 午後2時00分～午後3時30分
 場 所 4階AB会議室
 受講料 1,000円(税抜)
 申込方法 TEL:03-5791-6345
 (予約センター)

■眼瞼下垂セミナー(無料)

開催日 平成27年6月26日(金)
 時 間 午後1時30分～午後3時00分
 場 所 3階セミナー室
 定 員 30名
 申込方法 TEL:03-5791-6148
 (美容医学センター)

編集後記

新年度を迎え、もう、1ヶ月が経ちます。そんな中、病院の広報誌としていろいろな情報を発信している『つくしんぼ』もこのたびリニューアルしました。

表紙としてのアピール度を上げる工夫や新しい連載ものを始めるなど、お読みいただく皆さまに新鮮な感覚が芽生える様、リニューアルをしましたので、是非お読みください。

また、リニューアルしての第1号ですので、広報誌「つくしんぼ」の由来もお伝えしたいと思います。当院の歴史は古く、122年前のこの土地(地域)に「土筆」が多く生えおり「土筆ヶ丘」と呼

ばれているところから、その「土筆」を取って、土筆ヶ丘養生園(当院の前身)が北里柴三郎先生によって開設されました。同じ様に『つくしんぼ』という名前も「土筆」から名前をとり広報誌名としたそうです。

これからも、編集員一同、新しい情報や少しでもお役に立てる情報を発信できるよう頑張っていきます。(片倉)

